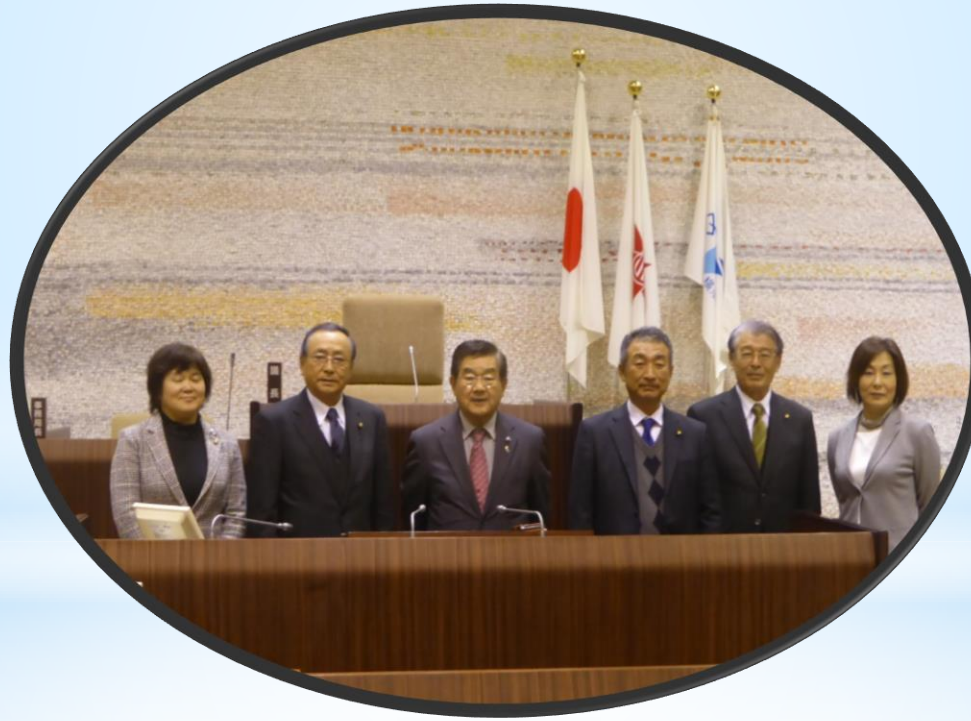


平成29年度 議会運営委員会
行政視察報告



平成30年1月18日（木）～19日（金）

神奈川県横須賀市、東京都立川市

西村豪武（委員長）、木田吉信（副委員長）
松葉進一、近藤勝久、三樹喜久代（森腰英信、海野誓生）

横須賀市議会



平成30年1月18日(木)

議会運営・議会改革について

- 1、議会基本条例制定に関する検討経過
- 2、通年議会
- 3、議会報告会
- 4、議会ICT化
- 5、大学との包括的パートナーシップ協定



1. 議会基本条例制定に関する検討経過

(1)平成21年2月26日、議長の諮問機関として、「議会基本条例検討委員会」を設置して、条例の策定を開始した。(以下経過内容)

- ・平成21年4月 元三重県議会議長(岩名秀樹氏)による研修会
- ・平成21年6月 関東学院大学法学部教授(出石 稔氏)による研修会
- ・平成22年1月 第15回委員会において、関東学院大学法学部教授 出石稔氏による精査・意見聴取
- ・平成22年2月 第18回委員会で、条例の素案及びパブリックコメントの実施を決定⇒3/8~4/6実施
- ・平成22年6月 第23回委員会において、条例の最終案を決定
- ・平成22年6月 第2回定例会本会議にて条例案可決
- ・平成22年8月 第25回委員会にて、一問一答・議会報告会の運用等を決定
- ・平成22年12月 第27回、28回委員会にて、議会報告会及び市民との懇談会実施要領を決定

(2)基本条例に基づく主な取組み

- ①予算決算常任委員会による審査
- ②議会報告会、市民との懇談会
- ③一問一答による質疑
- ④通年議会の導入
- ⑤継続的議会改革のための検討会議



* 基本条例の比較

横須賀市議会 基本条例

- ・前文
- ・第1章 総則(第1～5条)
- ・第2章 議会の活動原則(第6～8条)
- ・第3章 議員の活動原則(第9～11条)
- ・第4章 市民と議会の関係(第12～15条)
- ・第5章 議会と市長等の関係(第16～19条)
- ・第6章 議会の機能強化(第20～27条)
- ・第7章 議会改革の推進(第28～29条)
- ・第8章 議員の身分及び待遇(第30～31条)
- ・第9章 議会事務局等(第32～33条)
- ・第10章 継続的な検討(第34条)
- ・附則

日向市議会 基本条例

- 前文
- ・第1章 総則(第1条～4条)
- ・第2章 議会及び議員の活動原則等(第5条～12条)
- ・第3章 議会と市民との関係(第13条～15条)
- ・第4章 議会と市長等との関係(第16条～19条)
- ・第5章 議会の機能強化等(第20条～27条)
- ・第6章 補則(第28条)
- ・附則

2、通年議会の導入

○導入時期：平成29年5月から

定例的な会議の再開は、原則として6月、9月、11月、2月

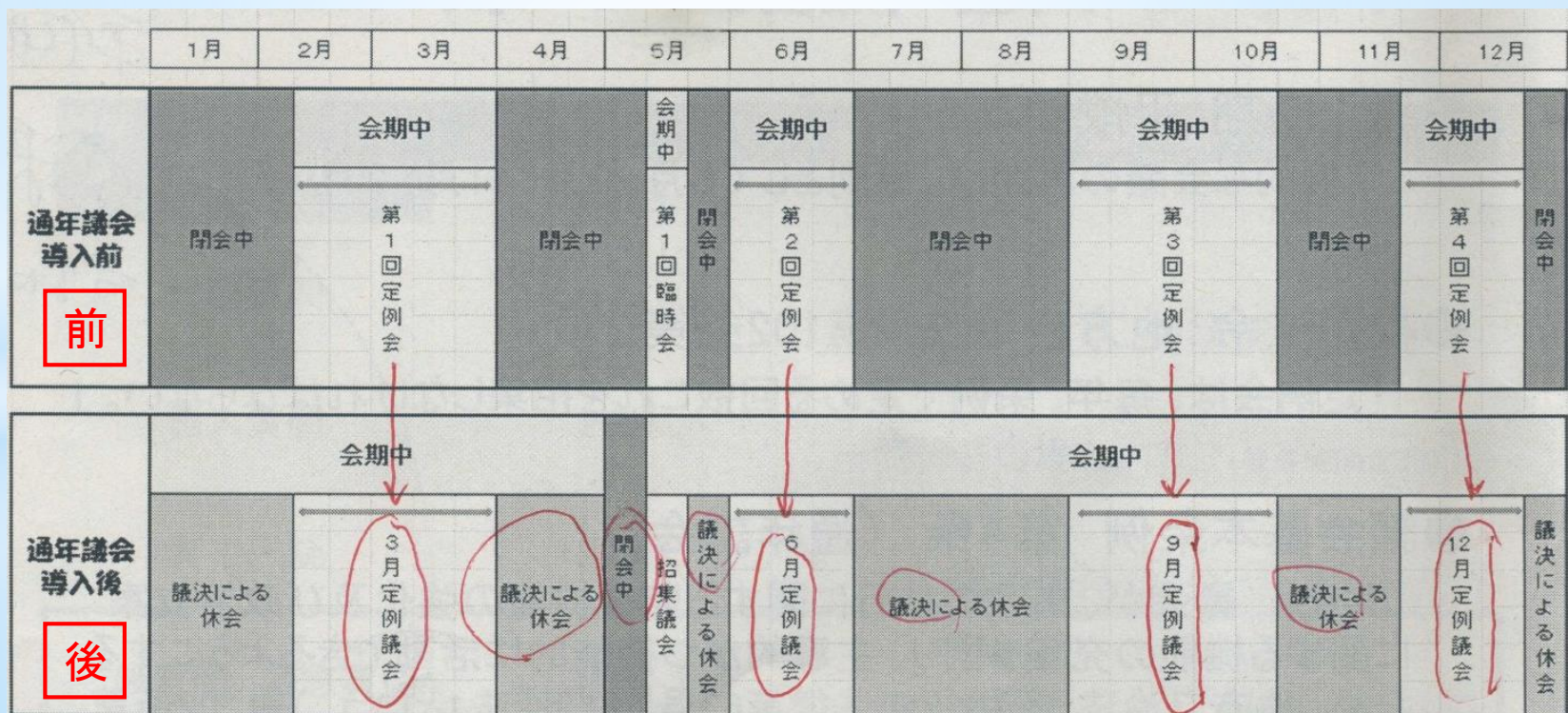
○根拠法令：地方自治法 第102条第2項

「定例会は、毎年、条例で定める回数を招集しなければならない。」

○議会基本条例 第4条(通年議会)

議会が、市政の執行に関する監視機能の強化及び政策立案に関する機能の充実を図り、主導的かつ機能的に活動できるようにするため、地方自治法第102条第2項の規定による条例で定める定例会の回数は年1回とし、その会期を通年とする。

通年議会のイメージ図



* 通年議会導入の事例

招集議会(5月10日)後の休会中に東日本大震災に由来する放射能汚染土の問題が発生



次の議会期間(5月31日～)を待たずに、5月22日に臨時で委員会を開催し、所管事務調査を実施

市長選挙後の副市長・教育長人事



定例議会を待たずにスピード感のある人事

* 事前の質問の回答

- ①導入の意義……………「決議」や「緊急質問」のための開会が可能
……………議会が主導的かつ機能的に活動できる
- ②メリット・デメリット…メリット 議会活動の周知と監視機能の強化
…デメリット 年度末の条例改正案件等は直ちに対応が出来ない
- ③一事不再議の取扱い
定例会は年1回に集約されたが、以前の「定例会」を「定例議会」に置き換えた運用

* 主な成果及び現在の検討課題

従 前	現 在
<p>検討課題が生じた際に、議会制度検討委員会を設置する(議長の諮問機関)</p>	<p>議会制度検討会議を常設し、継続的に議会改革に取り組む</p>
<p>【主な成果】</p>	<p>【主な成果】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・委員会インターネット中継の実施 (平成20年4定～) ・政務活動費収支報告書及び視察報告書のHP掲載(平成22年度～) ・各議員別議案賛否のHP掲載 (平成22年2定～) ・予算決算常任委員会の設置決定及び運営要綱の策定 (平成23年2定～) ・議員定数の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員政策条例制定のルール(パブリックコメント等)制定 ・政務活動費領収書の写しのHP掲載

3、議会報告会

(1) 設置目的

市民との意見交換の場を多様に設け、市民からの政策提案の機会の拡大を図るため、議案等の審議に関する事項その他重要と認められる事項について、市民に報告を行います。

(2) 運営方法

- ・年1回以上、1回につき市内5カ所を基準として実施します(原則として4月に実施)
- ・くじにより全議員を班に分け、各班が1地区を担当します。
- ・予算決算常任委員会を除いた各常任委員会それぞれで行います。
- ・報告会は、開会あいさつ、議会報告、質疑応答、参加者との意見交換、閉会あいさつの流れで行っており、開催時間は1時間30分程度です。



PR活動



報告会の様子

【実施状況】

実施年度	テーマ	参加者数
平成22年度 (1月に1会場で実施)	議会基本条例	ヴェルクよこすか 78名
平成23年度(改選年) (7月に2日間・5会場で実施)	平成23年度予算	5会場 計129名
平成24年度 (4月に2日間・5会場で実施)	平成24年度予算	5会場 計73名
平成25年度 (4月に2日間・5会場で実施)	平成25年度予算	5会場 計88名
平成26年度 (4月に2日間・5会場で実施)	平成26年度予算	5会場 計70名
平成27年度(改選年) (7月に2日間・5会場で実施)	平成27年度予算	5会場 計55名
平成28年度 (4月に2日間・5会場で実施)	平成28年度予算 特別委員会審査状況	5会場 計65名
平成29年度 (4月に2日間・4会場で実施)	平成29年度予算 特別委員会審査状況	4会場 計50名

報告会チラシ



駅前ではチラシの配布

こんな議論がありました

—横須賀市議会・議会報告会—



平成 29 年度予算の審査内容などを報告します。
皆さまのご参加をお待ちしております！

<p>4/21 (金) 19:00~20:30</p>	<p>池上コミュニティセンター 京急汐入駅・JR 横須賀駅から池上經由 JR 衣笠駅行きバスで「池上中学」バス停下車徒歩 3 分 JR 衣笠駅から池上經由 JR 横須賀駅行きバスで「池上中学」バス停下車徒歩 3 分</p> <p>鴨居コミュニティセンター 京急浦賀駅から観音崎、かもめ団地行きバスで「鴨居」バス停下車徒歩 2 分</p>
<p>4/22 (土) 14:00~15:30</p>	<p>ヴェルクよこすか ※手話通訳者を配置しています 京急横須賀中央駅から徒歩 5 分</p> <p>武山コミュニティセンター 「南武入口」バス停から徒歩 3 分、「竹川」バス停から徒歩 4 分</p>

*申し込み不要 *各会場、同じ内容です *報告内容についての質疑応答の時間もあります
*各会場に点字版の資料をご用意しています

報告内容：平成 29 年第 1 回定例会 総務常任委員会 生活環境常任委員会
教育福祉常任委員会 都市整備常任委員会

観光立市推進特別委員会
吉田市長の不透明な市政運営に関する調査特別委員会（100 条委員会）
中学校完全給食実施等検討特別委員会



*受け付けは、30 分前から行います。

FAX 046-824-2663 / E-MAIL pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp



主 催 : 横須賀市議会
お問い合わせ : 市議会事務局 TEL 046-822-8463

(3) 総合高校における議会報告会の試行

前期の議会報告会等準備会からの申し送り

(平成28年度準備会立上げ直後)

「市民からの意見を聴取する場を設けるための具体的な実施方法について」検討すること



- 【会場・対象者・報告内容等の見直し】 ←参加者数
・学生を対象に、学校へ出向いて開催する
- 【運営方法・環境整備等の見直し】 ←意見を聴く機会
・意見交換会をワークショップ形式にする

* 実施内容

(1) 開会の挨拶及び議長挨拶

(2) 第一部(議会報告)・・・【テーマ】子育て、定住、観光

①市議会、議員の仕事に関する説明

②本市が抱える課題及びその対策

(3) 第二部(グループワーク)・・・【テーマ】「よこすかをより魅力的な街にするには」

①班ごとに自己紹介

②班ごとに意見交換

～市民にとって、市外の方にとって～

* 総合高校議会報告会の意見

【参加議員の意見】

- ・意見が多く出て良かった。主権者教育の面から毎年やった方が良い。
- ・この報告会を経験した子が大人になってから、通常の議会報告会にも来てくれることを期待する。
- ・人数的(1班4~5名)に非常にやりやすかった。子どもが主体で、議員がサポートするスタイルが良かった。
- ・とても新鮮だった。ディスカッションの時間がもっと欲しい。
- ・通常の議会報告会も同じスタイルでやりたい。

【参加した生徒の意見】(参加者アンケートより抜粋)

- ・高校生の自分にも市政が身近に感じられた。
- ・短い時間だったが、内容の詰まった濃い話が出来て良かった。
- ・他人と意見を交えることで、自分では思いもしなかった意見が読々と出てきた。
- ・素直に「あ、頑張ってるじゃん横須賀」と感じた。

第一部
議会報告



第二部
グループワーク



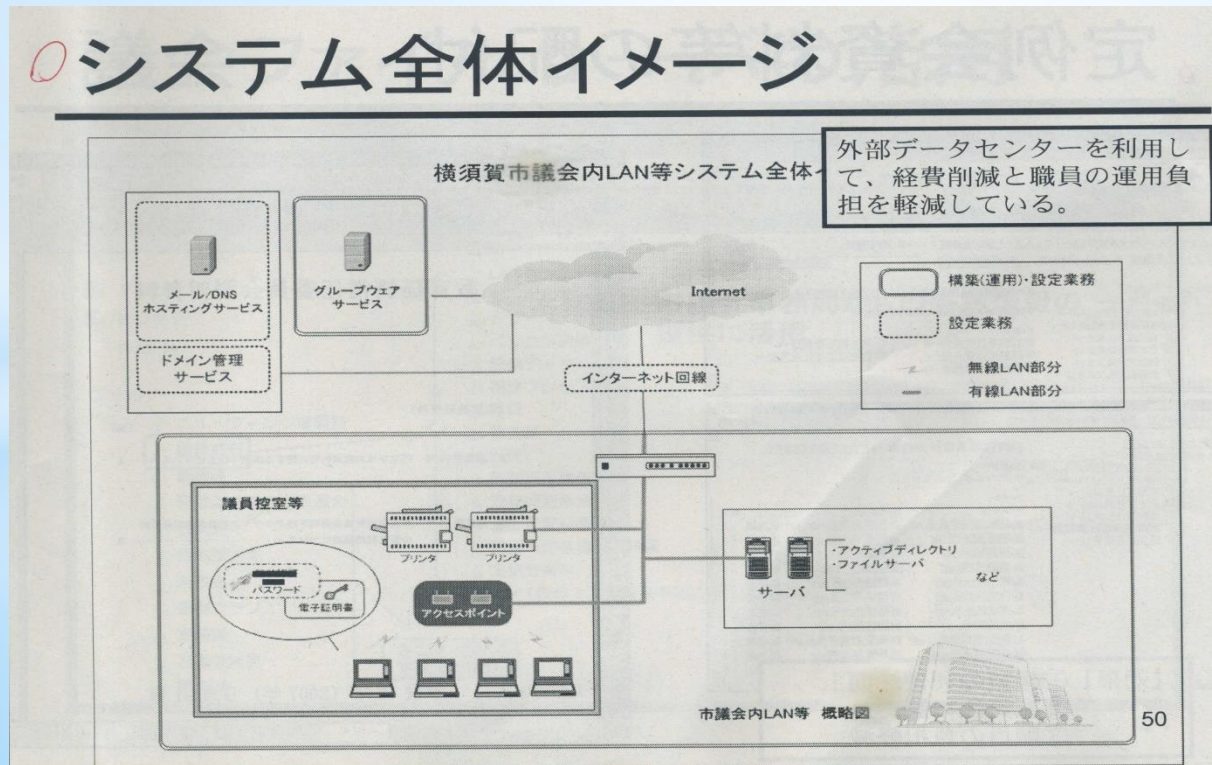
4、議会ICT化

(1)市議会ネットワークの概要

・平成14年に構築し、その後、19年、24年、29年の更新を行い、現在に至っている。

【主な運用】

- ①全議員にパソコンを貸与(持ち出し不可)
- ②グループウェアの利用(メール、掲示板、ファイル管理など)
* 電子証明書により、自宅や事務所のPCからも利用できる。
- ③議会内サーバでのデータの共有



システム運用費用
1、初期構築（更新）
経費:6,188千円
2、運用経費(29年度)
5,736千円
5年間運用経費
(29～34年度)
45,006千円

5、 関東学院大学とのパートナーシップ

(協定締結のきっかけ)

議会として政策をリードしていくため、「学」の知見を活用したい旨、地元の文系学部をもつ関東学院大学に相談した。関東学院大学では平成29年、法学部に地域創生学科を創設し、地方公務員やNPO法人、地域企業等で活躍する人材を育成していくことを予定しており、大学側も議会との連携を希望した。

- ・平成28年2月 関東学院大学 規矩学長と板橋議長が面談
- ・平成28年3月 議会運営委員会において議長報告の後、各会派の意向確認
- ・ // 議会運営委員会です承を得た後、協定を締結



【活用状況】

- ・平成28年6月 議員研修会開催
講師：関東学院大学学長
「防災対策・減災対策として何をすべきか」
- ・平成29年1月
講師：関東学院大学学長
いわゆる「ごみ屋敷条例」の制定に向けた考察
- ・平成29年8月
関東学院大学のインターンシップ学生受け入れ
- 平成30年1月 「関東学院大学法学部地域創生学科」へ出講(講師:政策検討会議委員長)

東京都立川市議会



- 平成30年1月19日(金)
議会運営・議会改革について
- 1、議会基本条例制定に関する経過
 - 2、クラウド情報共有システム
 - 3、立川市民と議会との意見交換会



1、立川市クラウド情報共有システム

(1)クラウド情報共有システムの構成

インターネット上のサーバーであるクラウドに掲載されているデータをタブレット端末で閲覧するもの。

①タブレット端末

ipad air(レンタル)×33台(議員28台、事務局5台)

②クラウドについて

Side Books(クラウド)×ユーザー(使用者)数は100ユーザー)

(2)クラウド情報システムに掲載する文書等

①会議資料

- ・議案、委員会報告資料等
- ・決算特別委員会、予算特別委員会にかかる請求資料
- ・議会各種会議に係る資料

②議員への通知文等

③議員への情報提供

④各種行政計画

⑤議会関係規定など

(3)クラウド情報システム運用方法

①掲載資料の整理

議会事務局が管理者権限で、クラウド内にフォルダを設置して検索がしやすいように整理している。

②資料等のアップロード

クラウドに資料をアップロードするのは、行政の各担当課と議会事務局で資料(PDFファイル)には、閲覧がしやすいように命名基準に基づきタイトルを付けている。

③閲覧

基本的に議員はタブレット、行政側は庁内で使用しているPCで閲覧。

(4)導入の費用・維持管理費用について

①タブレット端末通信料(保守付きレンタル、セルラーモデル、16GB)

通信料(月額) $3,252円 \times 1.08 \times 33台 = 115,901円$

②クラウド使用料(定価 ファイル容量11GB、100ユーザー)

・初期費用 $80,000円 \times 1.08 = 86,400円$

・使用料(月額) $85,000円 \times 1.08 = 91,800円$

【使用料内訳(月額)】

基本料(ファイル容量1GB) 20,000円

クライアントライセンス(100ユーザー) 20,000円

ファイル容量追加(10GB) 45,000円

(5) 導入の効果

- (1) 閲覧機能と携帯性に優れたタブレットとクラウドシステムの組合せにより、議員が議会または地域において議員活動を行う際に、タブレット一つあれば、ほかに紙の資料を持ち歩かなくても、資料閲覧が可能になった。
- (2) 各種情報提供に要する時間が短縮できた。
 - ・会議の議案、報告資料等の公開情報
 - ・各種行政計画
 - ・議会関連の条例、規則など
 - ・行政各課からの情報提供
 - ・位階事務局からの連絡等

(6) 今後の方針・課題

- (1) 導入にあたって、紙の資料配布と併用して運用することとなっていたが、平成27年第1回定例会より一部の紙資料の削減を実施し、今後については、さらに紙資料を進めて行くこととしている。
- (2) タブレット端末の通信機器としての機能(メール)の活用の拡大
- (3) 会議におけるPCとの併用(現在、会議におけるPC使用は認められていない)



タブレットの勉強会

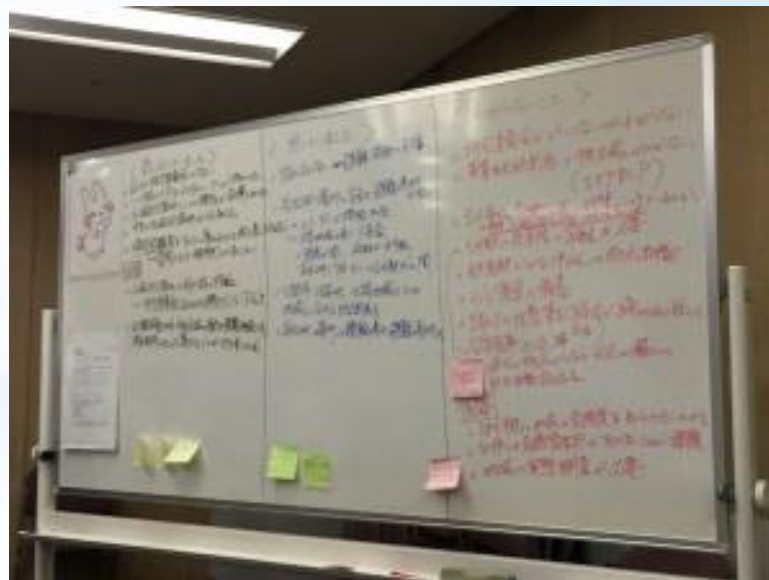


タブレットを使用した会議の風景

2、立川市民と議会の意見交換会

議会基本条例第8条(市民との情報及び意見交換)により、議会は、説明責任を果たすとともに、市民の多様な意見を的確に把握するため、議会及び市民が情報及び意見を交換する機会を多様に設けることができる。

立川市では、年2～4回、「子育て」「介護・医療」「防災」等々の身近なテーマを設定し、各種団体や無作為に選ばれた市民の皆さんと意見交換会を行っています。議会報告会と違って、市民の生の声が聴けることで好評です。但し、参加者が非常に少なく課題もあり、今後、議会報告会と同じように如何に参加者を増やせるのか検討が必要です。



開催状況

年度	参加者	テーマ	人数
26年度	小学校PTA連合会	各学校の状況及び議会に関すること	17
	無作為抽出の市民	議会に期待すること、素朴な質問	8
	中学校PTA連合会	各学校の状況及び議会に関すること	7
	無作為抽出の市民	議会に期待すること、素朴な質問	4
27年度	無作為抽出の市民	介護について	3
	無作為抽出の市民	子育てについて	4
28年度	無作為抽出の市民	子育て・教育について	6
	無作為抽出の市民	福祉・介護について	1
29年度	市民	ごみ問題（ごみの減量・リサイクル等）	5
	市民	防災（地震や水害・自主防災等）	9

横須賀市・立川市のまとめ（順不同・各委員に感想）

- 1、議会報告会の参加者増対策として、横須賀市では高校での議会報告会をおこなっている。本市でも議会活動や行政のことなどについて、出前報告会などの開催を行うべきではないかと感じた。
- 2、通年議会はデメリットを解消しながら、機関議会のチェック機能を強化するためにも、機能強化が図られる点は二元代表制の観点から評価できる。議会運営上は特別な不都合はなく、決議や緊急質問のために議会が主導的かつ機能的開催が可能となる。
- 3、通年議会は、本市の現制度以上のメリットがあれば勉強したい。
- 4、議会基本条例について、開かれた議会を目指し、4年に1回は実績評価を行い、見直しが必要。また、運用規則・要綱などの整理を早急に検討し取り組むべき。
- 5、ICT化は先進地の例を参考にして、効率的な有効手段として取り組むべき。
- 6、予算・決算の常任委員会を設置することで、同一の議員が総合的かつ一体的に審査をすることで、次の予算に反映されることができる。
- 7、ICT化を早急に導入し、紙媒体を減少すべき（ペーパーレス化）。
- 8、クラウド情報システムの導入は、議員の活動や市民への情報伝達についても検討すべきである。
- 9、今回視察した議会では、機関議会としての取り組みなどについて、それぞれの長のリーダーシップが議会活動の活性化に大きな力を発揮していたようだ。
- 10、議会改革はどここの議会も積極的に進めているようである。本市議会も他自治体に負けないようにしなければならないと感じた。
（議員定数削減などはどの議会も取り組んでいる）